

平成22年度第2回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成22年7月15日（木）午後2時～午後3時30分

2 開催場所 文化会館 3階 中会議室

3 出席者

（委員）

舟田委員長、杉山副委員長、米山委員、小坂委員、和田委員、宮道委員、中尾委員、工藤真由美委員、工藤宣延委員

（事務局）

教育次長、生涯学習部長、同次長、生涯学習課長、郷土博物館長、青少年センター所長、市民スポーツ課長、運動公園スポーツ施設整備課長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、日の出公民館長、当代島公民館長、高洲公民館長、中央図書館長、生涯学習課生涯学習係

4 議題

（1）前回会議内容の確認

（2）協議事項

- 1）社会教育関係団体の認定について（8件）
- 2）社会教育関係団体の認定の取り消しについて

（3）報告事項

- 1）浦安市こども情報紙「このゆびとまれ」夏号の発行について
- 2）平成22年度視聴覚ライブラリー自作教材制作員について
- 3）ゆめ半島千葉国体開催100日前記念イベントの事業報告
- 4）第14回当代島公民館文化祭開催結果
- 5）地域交流プラザエスレ高洲の開館について

（4）その他

- 1）うらやすジュニアオーケストラについて
- 2）浦安市生涯学習推進計画の策定について
- 3）次回会議日程について

5 議事概要及び会議経過

（1）前回会議内容の確認

平成22年度第1回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）の内容を確認し、了承された。

（2）協議事項

1）社会教育関係団体の認定について（8件）

生涯学習課長より概要を説明し、「茶遊会」「浦安バトンクラブ」「浦安プレーパークの会」の認定を承認した。

「プリティーベビー」「トロピカルエンジェル」「レッツゴーダンシング」「Angel sky」「AERO KID'S」については、継続審議とした。

委員からの質問および意見は、次のとおり。

茶遊会

（委員）会員数が11名とあるが、今後、人数が減ることも考えられる。会員を増やすように指導してほしい。

（事務局）申請の理由にも会員を増やしたいとあり、認定を受けることで

活動を広められるのではないかということである。会員を増やす努力をしていくように指導する。

(委員) この申請をするにあたって、会則などを作っているように思う。会則を見ると、総会や会計の監査について、何も謳われていない。少なくとも総会は開き、お金の出し入れは第三者が監査することが必要である。

こうした小さな団体で同種のもが増えてくると、キャパシティは限られているので、競合が発生して活動が阻害されることは起きていないのか。

(事務局) 現在市内に20団体ほどの茶道サークルがあり、各公民館で3～5団体ほどが活動している。和室の使用については、着付けや華道などの活動もあるが、茶道サークル同士の競合はないと思う。

(委員) 理屈上は総会や監査という形式が必要かと思うが、小さなサークルの場合、総会や監査という形を取らずとも、実際に明朗会計で会員が納得している団体はたくさんあると思う。呼びかけとして言うのはいいが、「～ねばならない」だと、今までに認定した団体もたくさんあるので、どのようにしていけばよいのか。

(委員) マストということではないが、総会や会計監査は会の活動を見直す機会であるので、形は別としても節目としてそういうものがあつた方が、より継続的で会員の総意による活動を行うことができる。

(委員) 会則については、事務局はどのような見解か。

(事務局) 申請の際に希望があれば会則の見本を提供しているが、実際は会の実情に応じて作成するものであり、見本の通りでなければならないということはない。

(委員) 決算書や予算書がきちんと作成されていれば、別にかまわない。

(委員) できれば会則に総会と監査について加えてもらえるよう指導してほしい。

プリティーベビー・トロピカルエンジェル・レッツゴードンシング・Angel sky・AERO KID'S

(委員) 発表会積立金は、どこから入るのか。

(事務局) 会費とは別に会員から集めている。

(委員) 会員が子どもで、役員は親である。こうしたものが組織として認められるのか。別に親の組織があるなら、よいと思う。

(事務局) 兄弟で入っていることもあり、会費は子ども1人当たりで取ることから、子どもが会員となっている。参加する子どもとその父母という構成である。

(委員) 書類の筆跡がすべて同じである。別組織なのに同じ人が書いているのはおかしいのではないか。

(事務局) 申請に来たのは「AERO KID'S」の会員である。連携して活動しているので、まとめて作成したものと思う。この申請については、判断しかねる部分もあるが、形式としては受理したものである。

(委員) 講師の営利事業ではないのか。

(委員) 認定することに違和感がある。会計上からも合同発表会のために全力を注いでいるような会であり、お稽古ごとに近い印象が否めない。地域や市の行事にも協力している姿勢は認めたいとも感じるが、減免措置を受けることを目的としているように感じられる。

(委員) 補助金の二重取りにはならないのか。

(委員) 活動は完全に分かれているので、二重取りにはならない。こうした活動は練習するばかりでなく、成果を確認するのが発表会なので、発表会が重くなるのはやむを得ないと思う。この団体はボランティアのような活動もしているので、まだよいと思う。本人たちとしては発表会の機会をたくさん持ちたいというのが本音だと思う。

(委員) このような形を取ってしまうと、民間の教室とどこで線引きしていけるのかというきわどい部分がある。慎重に検討したほうがよい。

(委員) 認定を受けたとして、この5団体で会場使用料が100万円ほどある。これはどうなるのか。

(事務局) 文化会館については、半額の減免である。

(委員) それを誰に還元するのか。質を上げるのか、会費を下げるのか。会費を下げてほしい。そこが指導のポイントかと思う。

「AERO KID'S」の21年度決算にある負担金の額が、各団体の21年度決算にある負担金の額と違っている。

「Angel sky」の会員の年齢層はどうなっているか。

(事務局) 「レッツゴードンシング」が15歳までであるので、16歳以上と思われる。

(委員) 「Angel sky」の会計監査が子どものような名前であるが、大人なのか。誤記ではないのか、確認してほしい。

(委員) まず営利の問題がある。講師がすべて同じであり、1団体あたりの謝礼金はそれほど高くないが、1日に複数の団体を指導しているので、かなりの金額になる。

(委員) 時間あたりは、それほど高い金額ではない。

(委員) 実際にダンスをしているのは子どもだが、会費を出しているのは親なので、親子が一緒になった会であるべきではないか。

(委員) 実態としては一つで、年齢層やレベルによって活動を分けている。こうした団体はわりとある。子どもがどこまで活動に関わっているのかを検討していただけるとよい。

(委員) 社会貢献もしており、活動としてはよいと思う。

(事務局) 疑問点等を確認し、次回再提出する。

浦安バトンクラブ

(委員) 講師謝礼金が2万円とあり、ガイドラインから見ると高額である。

(事務局) 活動1回当たりの金額は、ガイドラインの範囲内である。

(委員) 練習場所はどこなのか。

(事務局) 資料にあるように、中央公民館と総合体育館である。ほとんどが総合体育館を使用しているようである。

(委員) 認定を受けると、総合体育館の使用料は免除になるのか。

(事務局) 減免の措置はない。

(委員) 会議資料は誰が作成しているのか。

(事務局) 事務局が作成している。

(委員) 団体から提出された資料と比べて、21年度の決算額が違っている。

(事務局) 団体から提出された資料に記載されている当期収入と当期支出の額を記載している。

浦安プレーパークの会

委員からの質問および意見はなし。

- 2) 社会教育関係団体の認定の取り消しについて
生涯学習課長より報告し、了承された。

(3) 報告事項

- 1) 浦安市こども情報紙「このゆびとまれ」夏号の発行について
生涯学習課長より報告した。
- 2) 平成22年度視聴覚ライブラリー自作教材制作員について
生涯学習課長より報告した。
- 3) ゆめ半島千葉国体開催100日前記念イベントの事業報告
市民スポーツ課長より報告した。
- 4) 第14回当代島公民館文化祭開催結果
当代島公民館長より報告した。
- 5) 地域交流プラザエスレ高洲の開館について
高洲公民館長より報告した。

(4) その他

- 1) うらやすジュニアオーケストラについて
生涯学習課長より報告した。
- 2) 生涯学習推進計画の策定について
生涯学習課長より報告した。
- 3) 次回会議日程について
次回の会議は、平成22年9月16日(木)午後2時から文化会館中会議室
で開催する予定であるが、議会の開催により変更になる可能性がある。

以 上